

曼荼羅絵図と写真展

28日まで県世界遺産センターで

田辺市本宮町の和歌山県世界遺産センターで28日(月)まで、絵画と写真展「新春を寿(ことほ)ぐ熊野讃歌」展を開いている。2007年熊野曼荼羅絵図



曼荼羅絵図と写真展

コンテスト優秀賞受賞作品「熊野讃歌」(アクリル画)を展示。時間は午前9時〜午後5時。入場無料。

曼荼羅絵図の作者は新宮市出身のグラフィ

ックデザイナー・寺村正幸さん(東京都在住)。写真協力は友人の上野陽一郎さんで、大賀ハスや熊野川川舟下りなど9点を展示。寺村さんは「人々を苦悩から救ってくれるという観音さまからの天の水をいただき、山々の石清水を流れ地水となり、那智の大滝や熊野川となり、黒潮にそそがれる。そんな自然と信仰の道世界遺産『熊野古道』を熊野三山を中心に高野山、遠く京都、奈良、伊勢路を含め曼荼羅風に描きました」と言葉を寄せている。

問い合わせは同センター(電話07335・42・1044)まで。